

専門科目 日本語教育学・日本語学・日本文化学 （2枚のうち1枚目）

### I. 用語選択問題

次のAの10問，Bの5問計15問の用語から，5問を選択して答えなさい。ただし，5問のうち少なくとも3問は，「日本語教育学」か「日本語学」を専門としたい人は「A：日本語教育学・日本語学」から，「日本文化学」を専門としたい人は「B：日本文化学」から選択しなさい。また，必ず5問選択し，6問以上選択してはいけません。

A：日本語教育学・日本語学

- |                   |                           |
|-------------------|---------------------------|
| (1) 音素            | (6) メトニミーとシネクドキー          |
| (2) BICSとCALP     | (7) 語用論的転移                |
| (3) 場面シラバスと機能シラバス | (8) ジェンダーと言語イデオロギー        |
| (4) 理解可能なインプット    | (9) TERTIUM COMPARATIONIS |
| (5) 地域方言と社会方言     | (10) ビジネス日本語              |

B：日本文化学

- (11) 義理と恥の文化
- (12) 集団指向型国家
- (13) 天つ神と国つ神
- (14) ナンバ歩き
- (15) 岩倉使節団

専門科目 日本語教育学・日本語学・日本文化学 （2枚のうち2枚目）

## Ⅱ. 論述問題

以下の問題については、大学院で専門としたい分野に応じて、「日本語教育学」か「日本語学」を専門としたい人は「A：日本語教育学・日本語学」の4問から2問を選択し、「日本文化学」を専門としたい人は「B：日本文化学」の2問すべてに答えなさい。

なお、解答にあたっては、それぞれの問題に1枚の答案用紙を用いること。

### A：日本語教育学・日本語学

1. 大規模コーパスを使った日本語研究または日本語教育研究とはどのようなものか、コーパス名や研究事例をあげて説明しなさい。その際コーパス研究によるメリットやデメリットなども述べなさい。
2. コミュニケーションでは、言語行動のみならず非言語行動も発話の解釈において重要な役割を演じています。社会言語学は従来、コミュニケーション行動の言語的側面の差異に着目してきました。もし非言語行動を社会言語学的に研究する場合、どのような可能性があり、限界があるかについて論じなさい。
3. 外国語が日本語の語彙の一部として外来語化する場合に、音声的な面と意味的な面でどのような特徴が生じやすいかについて説明し、併せて日本語教育における外来語をめぐる問題点についてあなたの考えを述べなさい。
4. 慣用句やメタファーなどを、認知言語学ないしは認知文法の枠組みでどのように扱えるか、日本語の具体例を使って説明しなさい。

### B：日本文化学

1. 禪と浄土信仰の共通点・相違点を述べなさい。
2. 野口悠紀雄『1940年体制』の意義と問題点を論じなさい。

専門科目 英米地域研究 ( 1 枚のうち 1 枚目 )

N.B. Examinees should choose two out of three questions.

### Question #1

“The Habitus, along with the ideas of power field and forms of capital, is today widely regarded as one of Bourdieu’s most important theoretical objects, but it also perhaps the most vaguely defined” (Gabriel Ignatow). Discuss

Quote from: Gabriel Ignatow, Why the Sociology of Morality Needs Bourdieu’s Habitus, *Sociological Inquiry*, Vol. 79, No. 1, 2009, p.101

### Question #2

Using one or more examples, explain what kind of people may be considered subject to “social stigma” in society and discuss measures to empower them.

### Question #3

From the beginning of the 1990s for at least the next 20 years, Japan has often been described as having suffered through the so-called “lost decades” as it experienced a prolonged period of economic stagnation that coincided with a lengthy period of relative political instability. From a comparative perspective, discuss the extent to which this period of two “lost decades” in Japan that followed the collapse of its “bubble economy” can accurately be called the “lost decades.” Be sure to include in your assessment an account of both economic and political factors and how those factors contributed to the perception of economic malaise.